

消防車・救急車などの緊急通行時の 安全確保に対する協力のお願い

消防車や救急車は、住民の安全を守るために、一刻も早く火災などの災害現場に急行して消防活動を行い、被害を最小限に止めたいたり、救急処置を行い急病人などを速やかに病院へ搬送しなければなりません。

しかし、最近は、交通渋滞や違法駐車などにより消防車や救急車の円滑な緊急走行が困難になることが多くなっています。緊急時に災害現場への到着が遅れてしまうこともあります。

消防車などの緊急走行について普段から関心を深めていただくとともに、円滑な緊急走行のために市民の皆さん一人ひとりのご理解とご協力ををお願いします。

○消防車や救急車が、サイレンを鳴らして緊急走行し、接近してきた場合には、周囲の道路事情に配慮しながら速やかに道を譲るよう心がけてください。

○絶対に違法駐車をしないことはもちろんのこと、特に狭い道路、路地などで停車をする場合には、消防車などの通行に支障のないように配慮してください。

○渋滞した道路上や交差点付近では、特に交通が渋滞しているので消防車などから拡声器で呼びかけた場合にはこれに従い、消防車などが優先的に走行できるよう協力してください。

●小型動力ポンプ付積載車

●可搬式小型動力ポンプを貸与

市では、平成12年度の国の防災まちづくり事業により、可搬式小型動力ポンプと小型動力ポンプ付積載車を購入し、自主防災会と消防団に貸与しました。

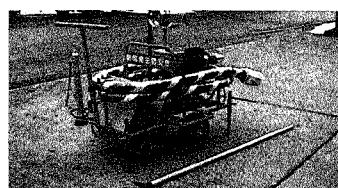
可搬式小型動力ポンプは2月2日に新町・弁天町及び桂町自主防災会に貸与しました。この可搬式小型動力ポンプは、大規模地震発生時の同時多発火災への初期消火対応を目的とするもので、現在までに41台を貸与しています。

小型動力ポンプ付積載車は2月9日に谷村第一分団第10部(鷹の巣)及び谷村第二分団第9部(大津・上小野)の両部に貸与しました。貸与式には自主防災会長を始めとする消防団幹部が出席しました。

この小型動力ポンプ付積載車には、最新鋭の消防ポンプが積載されており、火災、地震災害、風水害などに対応し、地域の消防活動の要として活躍するものです。



小型動力ポンプ付積載車



可搬式小型動力ポンプ

ネイチャーセンター ガイド (37)



「♪♪春がき~た~、春がき~た~、どこにきた~♪♪」春がもうすぐそこまでやってきましたね。1月、2月の雪の片づけでおわってしまったような感のある冬でした。もうすぐです。動物たち、植物たち、森が躍動感あふれる動きをみせてくれるのは・・・。

●フィールドでは・・・

【管理棟からニホンリスの野生の行動をのぞいてみよう】

朝8時、どこからともなくリスが施設のスギ並木につくった木の橋をわたってクルミを食べにやってくるのだ。それが、お昼近くまでクルミを一生懸命に割っている。近所のおじさんが毎日、夢中でこのリスを追っかけている。※お茶を飲みながら、リスウォッチングを楽しみませんか?

【かまくらの中からヒミズの行動をのぞいてみる】

センターの新しい観察空間。それが、かまくらから野生動物への接近をこころみる方法。これが何ともあたたかい。声も外へはこぼれない。ヒミズにとっても私たちにとっても無理のない空間なのだ。

観察だけではなくお茶を飲んでもらったり、かまくらのそばには大きな雪のすべり台があるので、どんどん遊びにきてね。

●センター情報誌がかえってきた!

「ふれあいネットワーク」

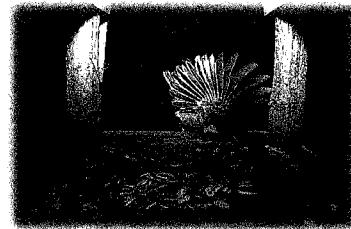
地域への情報発信、地域住民とのふれあいから情報交換をと書き始めた情報誌が帰ってきました。

森で感じたことやふれあいの里の情報、都留市の動植物の情報がたくさんつまっています。

また、みなさんからの情報もおまちしています。これからも情報をどんどん発信していきます。

●野鳥の世界も楽しみに来てね!!

野鳥をこんなに近くで見れるなんて!いろいろな工夫をしています。



連絡・問合先
宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝祭日の翌日 ☎(45)6222